



港南小学校だより

12月

二十四節気・七十二候

<12月の二十四節気>

- ・12月7日 大雪
天地閉塞雪降る
- ・12月22日 冬至
冬の最中日南下の極

<12月の七十二候>

- ・閉塞成冬
そらさむくふゆとなる
→天地の気が塞がって冬となる。
- ・熊蟄穴
くまあなにこもる
→熊が冬眠のために穴に隠れる。
- ・鮭魚群
さけのうおむらがる
→鮭が群がり川を上る。
- ・乃東生
なつかれくさしょうず
→夏枯草が芽を出す。
- ・麋角解
きわしかのつのおつ
→大鹿が角を落とす。
- ・雪下出麦
ゆきわたりでむぎのびる
→雪の下で麦が芽を出す。

校長 船木 亮作

いじめ防止・人権について考える

師走を迎え、朝夕めっきり冷え込むようになりました。令和元年も残すところ一か月となりました。

さて、毎月の学校だよりでお知らせしているように今年度も本校は「豊かな心」の育成を目指しています。その一つに人権について考えることも大切な内容です。我が国では、毎年十二月十日（四日・十日）を最終日とする一週間を人権週間と定めています。毎年、色々な場で人権、いじめについて子供たちに話をしてきました。顔立ち、頭髪、体型、肌の色、あだ名、障害があることなどで相手が嫌がることを言ったり仲間はずれにしたりしてはいけません。ことを今後も繰り返し指導していきます。今回のウインターフェスタにおいて六年生は人権問題を取り上げ、発表しました。そこでは、一学期から総合的な学習の時間を主に活用し、食肉市場などの見学等を行って、男女の差別、外国人への差別、職業選択の差別、障害者への差別等あらゆる差別問題について考え、それを基に発表を行います。いかがだったでしょうか？

十一月の「ふれあい月間（いじめ防止）」では、「いじめのない学校にするために」をテーマに各学級で話し合い標語を作成し、朝会の際に取り組んでいくことを発表しました。例えば

「ぼう言 ぼう力 ゆるしません！友だちのいいところをさがそう」

『「だいじょうぶ」「ありがとう」などのふわふわ言葉をたくさん使おう』

「いじめをなくそう（あいいうえお）」

⑥ 明るいい心

① 命のキケン

② STOP いじめ

前に豊かな心を育てよう

他にも、しっかりと話し合って決めた標語がいくつもありました。しかし、標語を決めたことに満足してしまい、それを意識したり振り返りを行ったりすることがやや足りない面も見られました。引き続き、学級で決めた標語を常に意識させ、いじめのない学校づくりを目指していきます。

また、近年スマートフォンの普及により、ネット上での悪口の書き込みやいじめも増えてきています。本校でもこれまで、いくつかの事案が発生しています。一度書き込んだものは一生消えません。そのことを忘れずに正しい使い方をしてほしいものです。勿論、登下校時の安全確保や災害時の安否確認のために有効な手段と言えますが、本校では、基本的には持ち込みを禁止しています。ただし、どうしても必要な理由がある方には「許可書」に記入していただき、その理由の中身を精査し、許可を出している児童もいます。しかし、その場合も学校内では使用しないという約束になっています。また、この許可書は毎年更新することになっていますので、ご承知おきください。

平成三十年度児童のインターネット利用状況調査では、スマートフォン利用率は小学生の約六十四%に上っています。また、一日の利用時間も年々増加傾向にあるなど長時間傾向になっています。ぜひ、使用場所、利用時間、フィルタリングを付け、パスワードを設定するなど各家庭でのルールをしっかり決めて使うようにご指導ください。

正しい知識をもつこと

先日、食肉市場で人権研修を受けました。牛や豚の解体工程を特別に見学しました。そこで働く人々の高度な技術と工夫や努力に感動しました。その日の夕食はハンバーグでしたが、本心から「いただきます」と言いました。

見学後には職人の方と懇談の機会を得ました。施設や労働者への誹謗中傷が書かれた投書やネット上の誤った情報の拡散に苦しんでいるそうです。職人の方が繰り返し発していたことは「正しい知識をもつこと」です。誤った知識は偏見を生み、差別につながっていきます。ハンセン病やHIV等がその例です。

孔子やソクラテスは無知の知という概念を説いています。私は本研修を通して、食の安心安全や安定供給、そのための工夫や努力、職人の技術や気概を知りました。

正しい知識をもち、人権感覚を磨き続けることが大切です。冬休み等を活用し、家庭で人権について考える時間を増やしていただければと思います。

（生活指導主幹 小清水 孝）



東京都港区港南 4-3-28
TEL 03-3474-1501・FAX 03-3474-1500

港南小学校HP

表彰

12月の行事予定

1日	日	
2日	月	振替休日
3日	火	全校朝会、委員会活動、セーフティタイム 盲導犬キャラバン(4年)
4日	水	体育朝会・児童集会、 基礎なし下校時刻変更【13:10頃下校】
5日	木	社会科見学[国会・江戸東京博物館](6年)
6日	金	基礎・清掃なし下校時刻変更【14:10頃下校】 ★4年3組は6時間授業【15:20頃下校】
7日	土	
8日	日	
9日	月	高学年朝会、こどもサミット(6年) クラブ活動
10日	火	低学年朝会、げんきアップタイム 保護者会(わかば、2・3・5年) 15:00
11日	水	避難訓練、音楽を聴く会(わかば)
12日	木	体育朝会・児童集会 保護者会(1・4・6年、2-2) 15:00
13日	金	保護者会(3-2)
14日	土	土曜授業日 フレンドリータイム、アンプティサッカー体験(4年)
15日	日	
16日	月	全校朝会、音楽鑑賞教室(5年) ブーケ作り授業(4年)
17日	火	げんきアップタイム
18日	水	
19日	木	音楽朝会
20日	金	
21日	土	
22日	日	
23日	月	高学年朝会
24日	火	低学年朝会
25日	水	終業式、給食終 基礎なし下校時刻変更【13:10頃下校】

☆12月26日(木)～1月7日(火) 冬季休業日☆

1月の主な行事予定

- 8日(水) 始業式、給食始、4時間授業
- 9日(木) 書き初め会(わかば、1・2・3・5年)
- 10日(金) 発育測定始、書き初め会(4・6年)
- 14日(火) 委員会活動
- 15日(水) 基礎なし下校時刻変更【13:10頃】
- 17日(金) 学校公開①、書き初め展始、漢字検定
- 18日(土) 学校公開② 道徳授業地区公開講座4校時
- 20日(月) クラブ活動
- 23日(木) 社会科見学(5年)
- 24日(金) ユニセフ週間始、書き初め展終
- 25日(土) 土曜授業日
フレンドリータイム、英語検定
- 30日(木) 保護者会(わかば)

副校長より

急に寒さが増し、冬の訪れを感じるようになりました。今年もたくさん行事があり、その一つ一つを通して子供たちは大きく成長していきました。今まで学んできたことを振り返り自分の糧となるよう指導していきま

す。十二月は師走とも呼ばれ、忙しい印象があります。そしてこの時期によく行われる「大掃除」があります。大掃除の由来は「煤払い(すすはらい)」と言われています。昔の家には囲炉裏やかまどがあり、家の中が煤だらけになったそうです。その煤を払うことが掃除の象徴でもありました。また、「払う」という言葉には、「清める」という意味があり、掃除をすることにより、身も心も清めようという教えもあったそうです。

(副校長

吉岡 慎
原島 謙二)

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童(人)	24	227	218	230	213	199	190	1301

(11月30日現在)

四年生より

交流給食

十月からわかば学級との交流給食が始まりました。わかば学級の友達と仲良くなったり、わかば学級のことについて理解を深めたりすることをねらいとしています。

初めのうちは、緊張してなかなか話ができない様子も見られましたが、昼休みには、わかば学級の友達と一緒に鬼ごっこをしたり室内でトランプをしたりするなど、すぐに打ち解けて遊んでいます。

掃除も一緒に行い、わかば学級にある教室を教えてもらったり、普段の学習の話の聞いたりして、わかば学級について理解を深めることができました。

交流後に教室に戻ってきてから感想を聞くと、「すごく楽しかったから、また交流給食に行きたい」や「わかば学級のことを知ることができてよかった」との声が聞かれました。今後も交流給食が続きますが、今回仲良くなった友達とさらによい関係を築いていけるように、支援をしてまいります。

(五組担任

山崎 愛未)



共に生きる わたしたち

四年生の総合的な学習の時間は、一学期から福祉について学習をしてきました。

二期は「障害のある人たちが高齢者の方と共に生きる港南の町にしよう」と、学習に取り組んでいます。地域の福祉を支える様々な人と交流をすることで、地域の福祉について考える機会にすることをねらいとしています。品川駅、都バスの営業所、老人ホーム港南の郷、手話ボランティアをしている保護者の方にご協力いただき、施設を見学したり、お話を聞いたりしました。「調べたことを伝えて、助け合ったり、理解し合ったりできる地域にしたい」と、同じことを調べたチームでポスターを作成しています。何を伝えたら、共に生きる港南の町になるのか、子供たちは真剣に話し合いを重ねています。

学習したことを生かし、地域の一人員として自分たちにできることをしようとして、進んで学習に取り組む子供たちの気持ちを大切にして、最後まで学習に取り組ませてまいります。

(四組担任 並木 恵美子)

五年生より

豊かな心を育む

四月当初から子供たちの「豊かな心を育てる」ことを目的として、毎日の生活や授業を通して、グループ活動などに取り組んできました。特に道徳では、他教科と関連させながらその時その時の子供たちの実態に合った内容を扱ってきました。

十一月に行った『ちゃんとやれよ、健太』は、「思いやりの心」がキーワードとなっています。今回の授業では、相手が嫌な気持ちになるメールを送ってしまった主人公の気持ちを考える活動を通して、相手の立場になって考えることの大切さを学びました。

一年生でも「思いやりの心が大切である」ということは知っていますが、相手の立場に立って考えることはまだ難しいです。しかし、高学年になると自他を客観的に捉えることができるようになるため、相手の置かれている状況を自分に置き換えて想像できるようになります。

この時期に人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、思いやりの心とそれに伴った行為ができるようになってほしいと願っています。

(三組担任 岡戸 奈都子)

遠足

十月三十一日(木)に科学技術館へ行ってきました。五月と六月に予定していた遠足が雨天により二度の延期となっていたため、子供たちはようやく行くことができると、前日から楽しみにしていました。

科学技術館についてからはグループで各ブースを見学しました。てこの規則性、燃焼の仕組み、身近な物理現象・力と圧力など、理科の学習と関連する大変興味深い内容ばかりでした。

(四組担任 小和瀬 皓惟朗)

三菱自動車体験プログラム

十一月十二日(火)と十四日(木)に三菱自動車体験プログラムを行いました。実際にエコカーを見ながら説明を聞き、社会の学習に合わせて学びを深めました。私たちの生活を豊かにする自動車をたくさん使っても環境を大切に出来ることを学びました。

また、車から給電しているところを見て災害の時にも役立つことを聞き、たくさんメモを取り、気になることも質問していました。

(二組担任 土屋 香澄)

委員会紹介



情報委員会

本校には、三十台の児童用パソコンと百六十台のタブレット型端末があり、調べ学習を中心に各学年で活用されています。しかし、実際にタブレットを使おうとしたときにバッテリーが充電されていないかったり、起動しなかったりといったトラブルも増えています。そこで、情報委員会では子供たちがいつでも快適に学習に取り組めるように、情報機器の整備や調整を積極的に行っていきたいと考えています。



(情報委員会担当 戸室 勇児)

集会委員会

集会委員会は毎月の児童集会を低学年と高学年に分けて活動を行っています。

集会委員の子供たちは、「みんなに楽しんでもらう」というめあてのもと、自分たちでどんな集会にするのかと企画を立てたり、集会をするために必要な役割を考えたりと、主体的に活動しています。また、担当する集会に向けて朝早く来て練習するなど、意欲的に取り組んでいます。

今年度は、集会委員会の中で見合っ

(集会委員会担当 中原 真)

運動委員会

運動委員会では、体育の授業がスムーズかつ安全に行えるようになることを目的として活動しています。

昨年度までの体育倉庫の整頓や体育朝会の準備に加え、今年度から学校全体で取り組んでいる「げんきアップタイム」の用具の片付けにも取り組んでいます。「げんきアップタイム」では、様々な用具を使います。それらの用具を次も使いやすくすること、体育の授業の準備の負担にならないようにすることを意識しながら活動することができました。十一月から後期の委員会が始まりましたが、前期と同様に活動していけるように支援していきます。

(運動委員会担当 山崎 愛未)

栽培委員会

栽培委員会では、季節に合った花を育てています。ジャンブルジムの横に設置しているプランターが栽培委員会のものです。

夏には、ヒマワリやマリーゴールドを育てました。ヒマワリは大きく育って綺麗でした。今は、コスモス、ノースポール、ガザニアが咲いています。委員会の子供たちが花の手入れを毎日行っていることで、花の数が増えて秋に彩を添えています。冬は、春に向けて、様々な球根類を植える予定です。



(栽培委員会担当 遠山 晶子)

折り紙・工作クラブ

折り紙・工作クラブでは、四月にみんなで作ってみたものを話し合い、計画しました。

これまで、折り紙で魚や動物を折り、画用紙に貼った平面の作品を作ったり、大好きなキャラクターをプラ版に描いて飾りを作ってみました。一人一人の個性あふれる作品が出来上がりました。

十二月のクラブでは、ビ

研究推進部より

本校は「豊かな心を育てる」という研究主題のもと、平成三十年度・令和元年度の二年間、港区の研究奨励を受け、校内研究に取り組んでまいりました。

港南の子供たちに、どんな力を学校教育で身に付けさせたいのか、教職員で議論を重ね設定された「豊かな心」です。

学校だよりも毎月校

ー玉コースターやスロットなど、遊べるものを作ろうと計画しています。

身近な画用紙やガムテープを使って、どんな素敵な作品が出来上がるのか、今後も楽しみです。

(折り紙・工作クラブ担当 松坂 祥子)



長や生活指導主幹から「豊かな心」についてご説明しています。私たちは子供たちの心を育むために日々の教育活動の評価・改善に取り組んでいます。

学校だけでなく、地域やご家庭と連携しながら、これからの子供たちのために研究を続けてまいります。

(研究推進主任 世取山 拓平)